

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療の質の評価・公表等推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	総務課		課長:土生 栄二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日付医政発0324第22号 「医療の質の評価・公表等推進事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民の関心の高い特定の医療分野について、「医療の質の評価・公表等推進事業」を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、医療の質の向上及び質の情報の公表を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>本事業を行う団体は臨床指標を選定し、協力病院の臨床データを収集・分析し、臨床指標を用いた医療の質の評価・公表を行い、評価や公表に当たった問題点の分析等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の分野について、評価・公表等を行う具体的な臨床指標を選定する。 ・関連する複数の医療機関から臨床データを集計・分析し、具体的な臨床指標の作成を行い、ホームページ等を通じて国民に対し公表する。 ・臨床データの提供のあった医療機関の関係者等による委員会を開催し、国民に有用な臨床指標の公表のあり方等に関する諸課題について分析・改善策の検討を行う。 <p>補助率:1/2</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	30	20	18	16	13	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	30	20	18	16	13	
		執行額	24	16	14			
	執行率(%)	80.0%	80.0%	77.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	公表された医療の質に関する臨床指標数		成果実績	指標	37項目	72項目	68項目	-
			達成度	%	93%	180%	170%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施団体数		活動実績 (当初見込み)	団体	3団体 (2団体)	3団体 (2団体)	3団体 (2団体)	- (2団体)
単位当たりコスト	232,382 (円/臨床指標)		算出根拠	24年度執行額/24年度に公表された医療の質に関する臨床指標数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	16	13	執行率の反映による減				
	計	16	13					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療の質に関する情報(アウトカム指標やプロセス指標)については、その標準化が求められているところであり、国費を投入する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療の質に関する情報(アウトカム指標やプロセス指標)については、その標準化が求められているところであり、国が実施することが適当と考えられる。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	平成23年12月に取りまとめられた社会保障審議会医療部会の「医療提供体制の改革に関する意見」において、「医療の質に関する情報の公表に向けた取組を進めるべきである」とされており、優先度が高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	公募により実施される事業であり競争性が確保されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	当該事業は、医療に関する広告、情報提供のあり方にも影響しうる事業であり、また、医療機関において提供する医療内容の向上に資する観点もことから、医療機関の負担は事業費の2分の1が妥当であると考えている。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	本事業に係る経費のうち、団体における最低限の経費のみが計上されているところであり、中間段階での支出は合理的なものとなっている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	臨床指標を選定し、協力病院の臨床データを収集・分析、臨床指標を用いた医療の質の評価・公表、評価や公表に当たっての問題点の分析等を行うものについて補助するものであり、真に必要なものに限り実施している。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	事業にかかる経費が各団体の努力により当初見込みより下がったため			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	既存団体の事務局機能等を活用することとしており、実効性は高いと考えられる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	2団体で活動見込みだったところ、3団体が活動することとなったため、年間の臨床指標数(延べ数)については、最低20指標であるが、近3年の平均値は、59指標であり、見込みを大きく上回っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	当該団体においてホームページ上で公表を実施しており、参照的に他病院がいつでも評価指標等が閲覧できるようになっている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	平成23年12月に取りまとめられた社会保障審議会医療部会の「医療提供体制の改革に関する意見」において、「医療の質に関する情報の公表に向けた取組を進めるべきである」とされており、今まで公表された医療の質に関する臨床指標は効果的に活用されている、今後も医療の質の向上及び情報の公表に役立つよう、臨床指標について分析し改善策の検討を行う必要がある。また、執行状況を勘案して毎年予算に反映してきている。なお、実施方法等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。					
外部有識者の所見						
成果物の有用性に係る評価が明確でないこと及び本事業で対象としている医療をどのように特定しているか分かりにくい等、レビューシートの記述に改善が必要。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	医療の質の評価・公表等推進事業については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	外部有識者の所見を踏まえ、シートの記述を訂正するとともに医療の質の評価・公表等推進事業については、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算の効率的な執行を図るよう努め、平成26年度概算要求において▲3百万円の縮減を図った。					
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会でも検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	0833	平成24年	732

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

【補助】
※補助率 1/2

A. 公益社団法人等 (3) 公募

〔業務内容は事業概要に記載〕

【随意契約】

B. ニッセイ情報テクノロジー株式会社
4百万円

〔医療の質の評価・公表等推進事業に係る指標の作成に必要なデータの収集、集計及び分析〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.公益社団法人 全日本病院協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	非常勤職員給与	3.5			
委託料	システム改修	2			
旅費	委員等旅費	1.0			
その他	会場借料、消耗品費、謝金 等	0.5			
計		7	計		0
B.ニッセイ情報テクノロジー株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医療の質の評価・公表等推進事業に係るシステム改修	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人全日本病院協会	参加病院の臨床指標集計・データ整理・分析・公表及びその方法論の検討	7	/	/
2	一般社団法人日本慢性期医療協会	参加病院の臨床指標集計・データ整理・分析・公表及びその方法論の検討	2	/	/
3	全日本民主医療機関連合会	参加病院の臨床指標集計・データ整理・分析・公表及びその方法論の検討	5	/	/
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	医療の質の評価・公表等推進事業に係るシステム改修	4	随意契約	/
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					